

Q 放課後児童クラブ利用料の減免制度の創設を

A 近隣市町村の動向、財源の確保等も含め適切に対応する



安心・安全な居場所、学童保育
(子育て支援課より)



内海富久子議員

Q 幼保無償化の円滑実施
制度内容 周知は。国に準拠 保育所は低所得世帯の負担軽減を望む声があるが、町の考え方。支援措置の必要性は認識している。

Q ハローワークの設置を
庁舎内に精華町版
Q 昨年、府内町村で初の「京都労働局との雇用対策協定」を締結した。

Q 出張相談会の利用者は267名、就職者数は32人で就職率約20%と目標を達成。子育て世代の相談が多く、身近な場所なので高評価を得ている。

Q ハローワークの設置について町の方向性は。障害者雇用、子育て世代の女性やシニア層の再就職を重点的に、ワンストップ支援窓口の早期設置を目指す。

Q 台風10号襲来時に、①町ホームページの関連情報が不足②更新時間がなく、最新情報が分からずSNSでも内容を知れない等の課題があつた。

Q ①緊急モードも準備し改善する②今後、本文末尾に掲載する③SNSにも掲載する。

Q 消防署からの出動時に①前の道路は、停車禁止の表示をすべき②水没エリアであり、西方向出動路の確保を。①現状では必要ない②現時点で考えていない。

Q 公約の事後確認可能に。選挙後も、選挙公報をホームページに掲載を続けるべき。

Q 防災体制が不十分だ

A 研究し改善を重ねる



佐々木雅彦議員



緊急時の対応を済む消防本部

Q 災害時の出動ルート
①現状では必要な動路の確保を。①現状では必要ない②現時点で考えていない。

Q 公約の事後確認可能に。選挙後も、選挙公報をホームページに掲載を続けるべき。

「ここが、聞きたい」一般質問 Q&A

12人の議員が町長・教育長に質問しました。

一般質問は、議員の調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町政や教育委員会などの施策を問うものです。



ページ	質問事項	質問議員
11	放課後児童クラブ利用料の減免制度の創設を	内海富久子
11	防災体制が不十分だ	佐々木雅彦
12	子どもたちと教職員のために町単費で教職員の復活・拡充を	山下 芳一
12	学校屋外にAEDの設置を	今方 晴美
13	一人ひとりに寄り添い公平・公正な町政を	松田 孝枝
13	木村町政4期16年の総括は	森田 喜久
14	多様な性のあり方を認められる社会に	柚木 弘子
14	高齢者の運転免許証返納に関するスタンスは	安宅 吉昭
15	町長が過去に何回か見逃してきた責任は重大である	山本 清悟
15	京都国際マンガミュージアムとの連携を	宮崎 瞳子
16	組織としての自浄能力がなく情報漏えいの疑いがある	青木 敏
16	学校トイレ改修はいつになる	三原 和久



※ 質問者順に掲載しています。
※ は、本文以外の質問事項です。

Q 一人ひとりに寄り添い 公平・公正な町政を

A 「人のふり見て、我がふり直せ」が行政の原点



被爆地への住民派遣事業の実施を



松田孝枝 議員

①「重大事件発生の原因の一つは入札事務が漫然と行われていた。毅然と取り組むことが大事」との答弁があった。公平・公正な視点と同時に住民の願いに寄り添う視点も重要である。①町営住宅の入居決定の全てを検証したか。また、行政行為の瑕疵があつたとの判断だが、救済の手立てはあるか。瑕疵責任は問うのか。②保育所運動会で、入り口の鍵を保護者に貸した事実関係と、判断基準を問う。

①過去、2件の事例についても適正に対処し、
②保育所運動会で、入り口の鍵を保護者に貸した事実関係と、判断基準を問う。
※障がい者の投票権行使についても質問しました。

①条例の制定は②推進協議会を設置し年中活動できる体制を③広島・長崎への住民派遣事業の実施は。
①②は考えない。
③平和首長会議を通じ、他自治体と交流する。



森田喜久 議員

Q 木村町政 4期16年の総括は

A 町民や各種団体の皆様のご協力に感謝



16年の思いを熱く語る町長
(企画調整課より)

①重点を置いた施策は、住んでみたい、住んで良かつた町づくりのため、どのような施策に重点を置かれたのか。
②三世代が支え合い、「ふるさとはここ精華町」と誇れるまちの実現のため、財政再建を図る中、デイサービスセンターの建設、町立国保病院の存続、小中学校へのエアコンの設置、土地の用途変更等を図り企業誘致を行つてきた。

③残された課題は、打越台環境センターの跡地利用を含め、防災食育センターの設置の実現。京阪奈新線延伸の早

期実現。一方、精華町へ行けば長生きできると言われる健康長寿のまちづくりをみんなで実現してもらいたい。
④バス停上屋未設置の今後の対策は、⑤バス停上屋について、学研登美ヶ丘駅方面は未設置場所が多いが、今後の方針は。

⑥上屋の設置は、原則バス事業者によるが、公共交通機関の利用促進と住民や立地企業就業者の利便性の向上を図るために、助成金等を活用し、早期に施設整備を図るよう奈良交通㈱に働きかける。

Q 子どもたちと教職員のために 町単費で教職員の復活・拡充を

A 基本的には府教育委員会に増員を要望



山下芳一 議員



小・中学校に町単費講師・専科・支援員の増を！

①講師も含め、学習支援員・介助員等を増やす予算（防衛省調整交付金等）の範囲内で、措置したい。
②教育は人ということであり教育が豊かになると予算（財政状況等を踏まえて）を考えはないのか。
③勤講師時間数は、中学校の町単費での非常勤講師時間数は、勤講師時間数は、
④予算（防衛省調整交付金等）の範囲内で、措置したい。
⑤教育は人ということであり教育が豊かになると予算（財政状況等を踏まえて）を考えはないのか。
⑥勤講師時間数は、中学校の町単費での非常勤講師時間数は、
⑦予算（防衛省調整交付金等）の範囲内で、措置したい。

⑧教育は人ということであり教育が豊かになると予算（財政状況等を踏まえて）を考えはないのか。
⑨勤講師時間数は、中学校の町単費での非常勤講師時間数は、
⑩予算（防衛省調整交付金等）の範囲内で、措置したい。

⑪教育は人ということであり教育が豊かになると予算（財政状況等を踏まえて）を考えはないのか。
⑫勤講師時間数は、中学校の町単費での非常勤講師時間数は、
⑬予算（防衛省調整交付金等）の範囲内で、措置したい。

⑭教員配置は、府にしてからることが基本である。
⑮より効率的な教育活動が行える。
⑯勤講師時間数は、中学校の町単費での非常勤講師時間数は、
⑰予算（防衛省調整交付金等）の範囲内で、措置したい。

⑱教員配置は、府にしてからすることが基本である。
⑲より効率的な教育活動が行える。
⑳勤講師時間数は、中学校の町単費での非常勤講師時間数は、
㉑予算（防衛省調整交付金等）の範囲内で、措置したい。

Q 学校屋外にAEDの設置を



今方晴美 議員

A 先進事例等を調査した上で判断する



屋外設置で児童生徒、住民の安全確保を
(伊勢原市ホームページより)

①AEDを装着するような重大事象に対応できるよう、危機管理マニュアルに基づき対応訓練も行う必要がある。
②設置場所や費用等の課題があり調査する。
③教員は、心停止やAEDの設置を。
④設置場所や費用等の課題があり調査する。
⑤小学生も学校内外で第一発見者になり得る間休日などに活動する住民も多い。学校屋外にAEDの設置を。
⑥設置場所や費用等の課題があり調査する。
⑦教員は、心停止やAEDの設置を。
⑧設置場所や費用等の課題があり調査する。
⑨小学生も学校内外で第一発見者になり得る間休日などに活動する住民も多い。学校屋外にAEDの設置を。
⑩設置場所や費用等の課題があり調査する。
⑪教員は、心停止やAEDの設置を。
⑫設置場所や費用等の課題があり調査する。
⑬教員は、心停止やAEDの設置を。
⑭設置場所や費用等の課題があり調査する。
⑮教員は、心停止やAEDの設置を。
⑯設置場所や費用等の課題があり調査する。
⑰教員は、心停止やAEDの設置を。
⑱設置場所や費用等の課題があり調査する。
⑲教員は、心停止やAEDの設置を。
⑳設置場所や費用等の課題があり調査する。
㉑教員は、心停止やAEDの設置を。

Q 町長が過去に何回か見逃してきた責任は重大である

A 事件を防げなかった道義的責任は痛感している



小学校に教科担任制の導入を



山本清悟議員

Q 職員が逮捕された事件の重大事件等調査委員会の報告書の指摘事項を町長に問う。①最低制限価格と同額の落札件数が多数存在する②他の職員による情報流出は否定できない③職員の漏えいの可能性を疑わず、目つむり、放置してきた④最高責任者の木村町長が、事件防止の機会を、過去世に何回か見逃した責任は重大である。

A 極めて厳しい内容の報告書、答申をいただいた。改めてその責任の重大さをかみしめ、深く反省している。①組織として

Q 小学校の教科担任制の本格的な導入を。
A 教員は得意な分野の集中から負担軽減につながる。高学年から専門性の高い指導が効果的で導入は望ましい。国や府の動向などを見極め、方向性を考え財源が必要である。

Q 教科担任制の導入をして私自身、認識が甘かつたと痛感②職員に対する聞き取り調査も漏えい否定で、捜査権がなく、結局、職員を信頼した③④事件を未然にふせげなかつた道義的責任は、強く認識している。

Q 京都国際マンガミュージアムとの連携を

A 今後追及していく



宮崎睦子議員

大活躍！！町の担い手、子どもも議員
(企画調整課より)

Q 子ども達の願いを町政に反映を
A 先生方のご指導のもと、子ども達の素直で率直な意見が聞ける子ども議会であるが、趣旨に基づいた目的は、達成できているのか。

Q 社会に参加する意識

A 子ども達が手応えを感じ、子ども議員になつてよかつたと思えるよう提案してくれた。子ども達の願いは、町政に反映するべきでは。

A 子ども達が手応えを感じ、子ども議員になつてよかつたと思えるよう提案してくれた。子ども達の願いは、町政に反映するべきでは。

Q 多様な性のあり方を認められる社会に

A 人権教育、啓発活動を進める



柚木弘子議員



みんなで いただきまーす

Q 公的証明書で性別記入の削除は進んだか。印鑑証明、住民票は性別欄を削除した。他に

Q 教職員の理解は。A 研修をし、授業を行っている学校もある。さらに教職員の資質向上を目標に、後は非正規職員、アルバイトである。今のアルバイタードである。今のが、正規職員数は課題である。

Q 5校での調理員は3名だけ、後は正規職員は26名いるが正規職員は課題である。A 国の基準に基づいて給食の質が維持できるか。A 当面の課題である。

Q 来年度は正規職員を募集すべきだが。

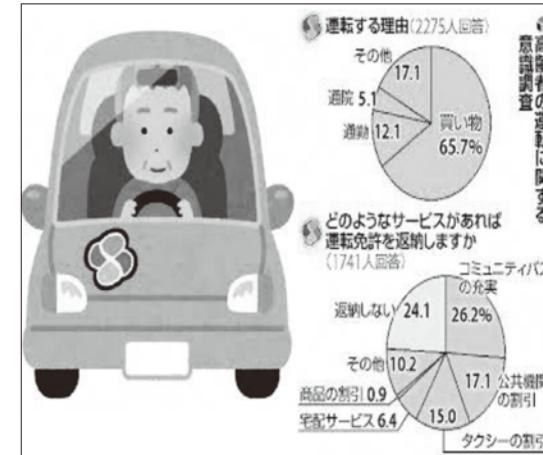
Q 5校での調理員は26名だけ、後は正規職員は26名いるが、正規職員数は課題である。A 国の基準に基づいて給食の質が維持できるか。A 当面の課題である。

Q 高齢者の運転免許証返納に関するスタンスは



安宅吉昭議員

A ご自身で決定していただき支援する



Q 高齢者で運転によるリスクを避けるため、免許を返納したいと考えてもできないという状況もある。本町のスタンスは。

A 高齢者ドライバーにおいては個人ごとに差異があり、あくまでご自身が決定されるものである。本町は安全運転への労いも含めて支援していく。

Q 返納される人への支援として、本町ではくるりんバスの回数券2冊を支給されているが、その理由と反応は。

A 移動手段としてくるりんバスを利用いただく機会を設ける意義がある。そして、おおむね評価をいただいている。

その後を追う どこまで進んだの!?

議会だより 162号より
(H30.11.1発行)



ヤングケアラーの把握と支援を

その時の答 迅速・的確で必要な支援に努める。

その後現在は …… スクールカウンセラーや、スクールソーシャルワーカー、福祉関係機関等と連携し、ヤングケアラーの把握と必要な支援に努めている。

(学校教育課)

水道料金の値上げは、やむなしか

その時の答 住民理解を求めていく。

その後現在は …… 現在の精華町水道事業は、住民の皆さんに水を供給するために必要な費用の「給水原価」と、納めていただく料金の「供給単価」とが逆転する構造的な赤字体质となっており、毎年約2億円の基金取り崩しを行っている状況で、その残高推移から今後10年で資金枯渇は避けられない状況となっている。

本町水道事業の持続性ある安定運営を確保するためにも、適正な料金水準がどのあたりなのか調査検討していく。 (経理営業課)

ブロック塀等の安全対策は十分か

その時の答 安全確保に努めている。

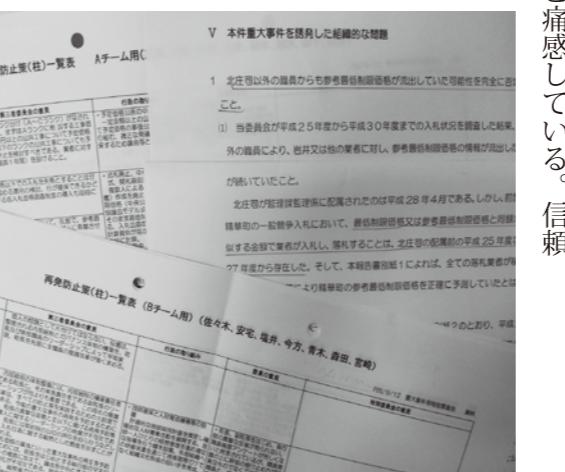
その後現在は …… 「ブロック塀の点検のチェックポイント」を町ホームページにおいて掲載し、自主的な安全点検や点検結果により建築基準法に適合しないブロック塀については、補修や撤去をしていただくよう引き続き周知を行っている。

また、平成30年12月に京都府で創設されたブロック塀等の除却費用に対する補助制度を活用し、道路等に面し、かつ点検の結果、傾きやひび割れ等にて安全性に問題があると判断した民間施設のブロック塀等について、経費の一部を令和元年度末までの期限付きで補助する制度を創設し、安全確保が図れるよう努めている。

(都市整備課)

Q 組織としての自浄能力がなく情報漏えいの疑いがある

A 認識に甘さがあった。痛感し反省している



まだ事件は終わっていません

Q 第三者委員会を立ち上げた時と中間報告には新聞社が来た。報告書には組織としての自浄能力がなく、事件以前からの情報漏えいや他からの漏えいの疑いも拭えないところである。最終報告書については、町からの意見は何ともなく、がっかりした。新たにスタートをするなら、住民、業者、職員、議会が納得する形の信頼回復が必要では。

A 組織としての自浄能力に欠けていたことは報告書に厳しく指摘のとおりで、認識の甘さがあつたと痛感している。信頼

A ①②完成の日途は立つてない③東西間の交通は喫緊の課題ではない。鉄道事業者との協議は困難と考える。陸橋は難しいので踏切移設を。

Q 魅力あるまちづくりとして、みちづくりは急で、再発防止に努める。



三原和久議員

Q 学校トイレ改修はいつになる

A 改修整備、優先整備事項の一つに位置づけ取り組んでいく



Q トイレ改修問題については、平成24年9月、平成27年12月会議で一般質問しているが、今後の先行きが全く見えない。新しく教育長がかわられたので改めて質問する。学校トイレについては、ほかの施設と比べて相対的に整備が遅れており、早急に改善をする必要がある。家庭でトイレの洋式化が進む中、和式中心の学校が多いというギャップが存在し、子供たちも「汚い、臭い、暗い」など、意見も多く聞く。今後のトイレ改修を含め

A トイレ改修は、生活様式や意識の変化に対応した快適性や機能性などを目配りをして、児童生徒の生活環境を向上させる視点を持って整備に努めることが重要であると認識している。今年度は、学校施設の長寿命化計画を策定中であり、洋式化を含め、トイレの改修整備を優先整備事項の一つに位置づけ、大規模改修事業等の国の補助金など、財源を確保しながら取り組んでいく。

街をつくる人

87

NPO 法人
みんなの元気塾

手助けの必要な人達を地域で支える活動をしています！

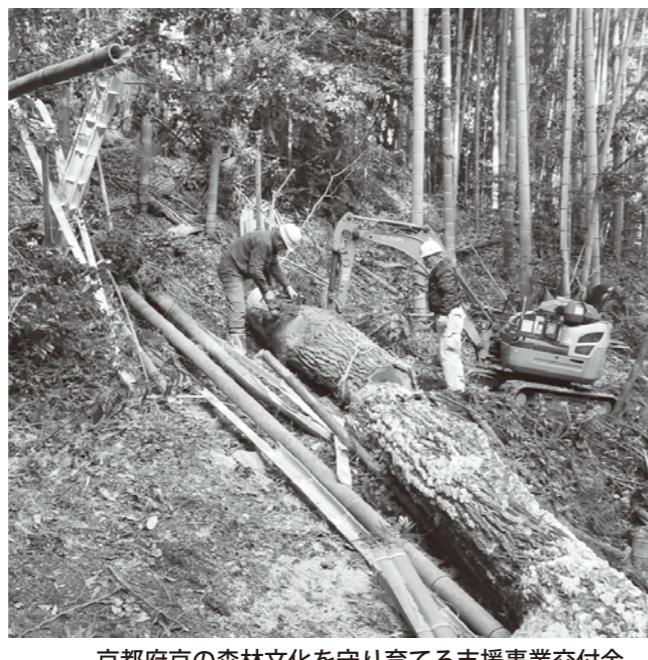
みんなの元気塾とは

みんなの元気塾を拠点としてお互いに助け合い、心の通い合う地域づくりを実現するために、地域のふれあいの場所として活動を行い、すべての人々が共生できる地域社会の創造に寄与することを目的に活動しています。事業としては“高齢者サロン”“地域助け合い”“健康づくり”“地域の伝統・文化継承事業”を行っています。

今回紹介しますのは、地域の伝統・文化継承事業として行っている「わくわく嶽山プロジェクト」です。平成26年にスタートし、嶽山の環境整備事業を行っていますが、毎年11月に行われる交流芋煮会は好評で沢山の方が参加しています。

わくわくだけやま 「嶽山」環境整備事業に取り組んでいます！

精華町最高峰の嶽山は、古くは（平安時代）山岳宗教の修行場として、専光寺や東畑神社と共に東畑を象徴する里山でした。数十年前までは山頂から集落はもとより、遠くは奈良の若草山や東大寺が眺望でき、毎年春（4月）には伝統行事の「山がえり」で地域の子供たちが、山にお弁当を持ち寄り1日を過ごす生活の一部として親しんできました。



京都府地域力再生プロジェクト支援交付金を受けて区民で山道整備を行いました

京都府京の森林文化を守り育てる支援事業交付金を受けナラ枯れ伐採や山道整備を実施



交流芋煮会風景（毎年11月実施）



里山ボランティア養成講座での竹林整備実習

参 加 者 の 声

年齢の異なる人達と協力しあって竹林整備をやり遂げ、達成感を感じることができました。このような社会貢献活動の素晴らしさを広めていきたいと思います。

環境保全活動は一度で良いということではなく、放置すればすぐ荒れ地になってしまことから、継続して行う必要があると思いました。

東畑地区の里山を子どもと一緒に歩いた後の芋煮は大変おいしかったです。これからも機会があれば参加したいと思います。

里山は地域の財産ということがよくわかりました。また一人の力で出来ることは限られるので、沢山の人の協力が必要だなと思いました。皆さんに感謝！

精華町ふるさと案内人の会「ふるさと発見の旅・せいか小さな旅」で紹介され、最近では区外から嶽山散策に訪れるグループの方が増えて来ています。今後もこのような皆さまとの交流が、地域活性化に繋がることを期待して活動していきますので、沢山の皆さま方のご参加をお待ちしています。

NPO 法人
みんなの元気塾
代表 森田 起一
TEL.0774-51-0958

ギャラリー

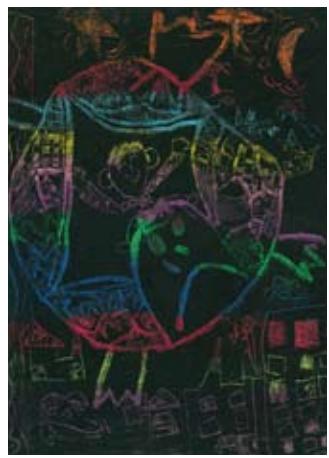
Gallery Hana

華

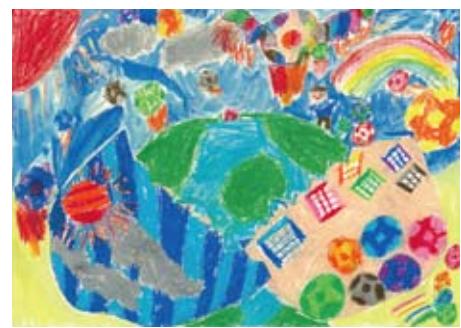
川西小学校
児童の作品



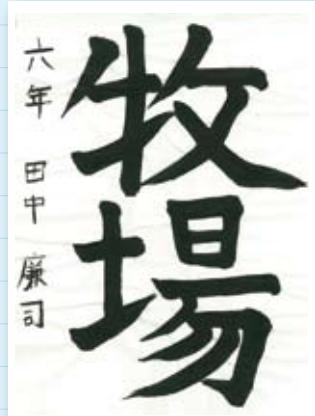
(1年) 安達愛純さん



(3年) 川本鴻さん



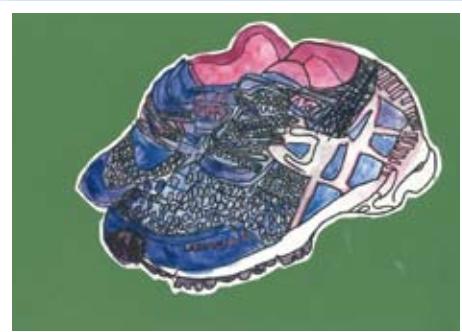
(2年) 藤田翼さん



(6年) 田中廉司さん



(5年) 酒元花楓さん



(4年) 大下航さん

表紙撮影者 “ひとこと”

活躍する災害ボランティア

- 撮影日：令和元年8月25日(日)
- 撮影場所：精華町立川西小学校 防災訓練会場
- 撮影者：広報委員

編集後記

今秋、台風15号や19号が日本列島に甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになられた皆さまのご冥福をお祈りするとともに、一刻も早い復興を願っています。日頃何気なく使っている電気が長時間使えないことや、安全だと思っていた堤防が決壊するなど、改めて自然の猛威を実感しました。

町民の命と財産を守るために、議会もさらに災害対策に取り組みます。

皆さまのご意見・提案などを待ちています。